



## ☆ 社会人になったときの気持ち

こんにちは!澤村です。4月ですね。4月というとお春、桜、出会い、新番組、新年度、そして新入社員と4月は新がつく新鮮な言葉が目立ちますよね。皆さんにとっての初の社会人は、どんな感じでしたか? 初入職のときはどんな気持ちでしたか? 私が初社会人になったときは、希望と不安とやる気が入り混じっていた気持ちだったことは忘れません。最初に入社した会社はアパレル会社でした。新入社員研修と題して、河口湖で1週間泊まり込みで軍隊みたいな研修を受けました。まわれ〜ッ右 イチニ! ぜんた〜い 止まれ イチニ! 最後日の夜、外の池で水に入りお清めをする。褌(みそぎ)をして終了でした。ほんとに冷たくて嗚咽がでました。修行のような厳しい研修でしたが、社会人としての意識を持つことと同期の結束が強くなりました。初めての気持ちは忘れない。は私の信条でもあります。つつい慣れてくると慢心してきちゃうんですね。ただ、この季節になると鈍っていた感覚がよみがえってくるんですね。不思議と。

ここで、おもしろい記事を見つけましたのでご紹介いたします!ヘイセイ世代を読み解くキーワードです。

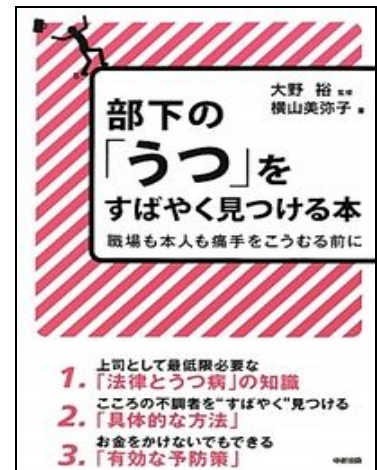
- 1、平成マインド ~ 記憶にあるのは平成以降。彼らにとって昭和はもはや歴史上の出来事。
- 2、祖父母 ~ 母親の実家近くで育ち、小さい頃母の留守には祖父母に預けられた。母が活動的で、祖父母に預けられたことにより、健康志向。
- 3、合理的(好きな言葉) ~ 小さいころからPCに慣れ、社会の仕組みが高度になった日本で育つため情よりか理にかなった説明をする方が効果的。
- 4、自分の意見を持っている(強み) ~ 親が自分に投資してくれていたため、海外旅行やアウトドアなど幼いころから幅広い経験を持っている。中身がある=かっこいい。自分なりの哲学や理屈を持っている。

この世代とうまく付き合うためには、自分のことを語らせるのがよいそうです。考えていないようで自分の意見は持っているため、カウンセラーとして接し、意見を引き出すようにすると分かりあえますよ!との見解が出ていました(^ ^) いかがでしょうか? 自分及び周りの人にあてはまりそうですか??

### ◆◆おすすめ書籍◆◆

今号は、“部下の「うつ」をすばやく見つける本”をご紹介いたします。この本の著者の横山美弥子さんは、産業カウンセラーとして各企業に指導していらっしゃる方です。私の前職でもお世話になった方です。4月17日のセミナーも企画させていただいています。先月お会いした際に「書籍ができました」とこの本をいただき、早速読んでみました。対応方法が具体的に書いてあり、実務者向きですが、部下をお持ちの方や管理職の方は一度目を通しておくと

いいんじゃないかと思えます。目次の抜粋ですが、<こここの不調はなぜ起こるのか?><不調者を“すばやく”見つける方法><残念ながら不調者が出た。具体的に何をしたらよいのか?> などその際の部下との会話の仕方や事例が載っています。私もこの手の本は読みましたが、お世辞抜きに良い本です。管理職の方が堂々と読むのは…ですので、カバーをつけて読むなど配慮しながら読んでくださいませ^^!



中経出版 著者：横山美弥子